

令和2年度

滋賀の文化財講座

打出

の

コツキ



花湖さんは
滋賀の文化財講座のネーミングライツパートナー
のイメージキャラクターです。



花湖さんの

主催／滋賀県文化スポーツ部文化財保護課・滋賀県立琵琶湖文化館

後援／滋賀県文化財保護連盟・(公社)びわこビジターズビューロー・(公財)滋賀県文化財保護協会

第1回 7月9日(木)

これぞ逸品ですぞ!!
琵琶湖文化館蔵考古資料から

講師：仲川 靖
(県文化財保護課)

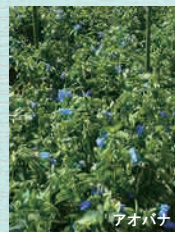


雲文軒丸瓦 (前漢)

第2回 8月6日(木)

染織を消えて支える青花紙

講師：菊池理予
(文化庁文化財第一課
文化財調査官)
矢田直樹
(県文化財保護課)



青花紙

第3回 9月10日(木)

滋賀県の仏教工芸
舍利荘厳篇

講師：田澤 梓
(県立琵琶湖文化館)



重文 厨子入銅製舍利塔 (浄厳院蔵)

第4回 10月21日(水)

成菩提院の「釈迦諸尊集会図」と
中国・南宋時代の仏画
滋賀県新指定文化財の紹介

講師：古川史隆
(県文化財保護課
県立琵琶湖文化館)



(節分)

第5回 11月5日(木)

現地探訪

栗東歴史民俗博物館と
その周辺

講師：井上 優
(県文化財保護課
県立琵琶湖文化館)

時 間 13:30~15:30
(受付開始13:15)

集合・解散 JR 草津線 手原駅 募集人数 40名

※徒歩での移動となります。歩きやすい服装・靴でご参加ください。

第6回 12月10日(木)

神と仏の融合「本地垂迹」
と仏像・神像

講師：和澄浩介
(県立琵琶湖文化館)



重文 伝弥勒菩薩立像 (若王寺蔵)



会場 第1~4・6回

コラボしが21 3階 大会議室

滋賀県大津市打出浜2-1

JR琵琶湖線膳所駅より徒歩 20分
京阪石坂線石場駅より徒歩 10分

※会場には駐車場がありません。近隣の駐車場(有料)をご利用になるか、公共交通機関でお越しください。

時 間 13:30~15:00

第1~4・6回 (受付開始13:15)

募集人数 各回 100名

第1~4・6回 ※全回とも事前の申込みが必要。

申込方法 電話・FAX・E-mail のいずれか

氏名・お住まいの市町名・電話番号
参加希望回を明記の上、お申込み下さい。

※電話受付時間：平日(8:30~17:15)

参加費 無 料

参加のお申込み・お問い合わせ

滋賀県立 琵琶湖文化館

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜地先

TEL / 077-522-8179 FAX / 077-522-9634

E-mail / biwakobunkakan@yacht.ocn.ne.jp

ホームページ / <http://www.biwakobunkakan.jp>



文化館キャラクター
あきつ君

※新型コロナウイルス感染予防・拡散防止について、皆様のご理解とご協力をお願いします。

- ・発熱・咳込み等の症状がある方は、参加をお控え下さい。
- ・マスク持参・着用をお願いいたします。
- ・手洗い・アルコール消毒にご協力下さい。
- ・受付での氏名・連絡先のご確認にご協力下さい。

※日時・タイトル・講師および内容の一部について、都合により、変更となる場合がございます。また、新型コロナウイルス感染症対策等の状況によっては、急遽中止となる場合もございます。あらかじめご了承下さい。

近江には国宝、重要文化財を含む多種多様な文化財が伝わっています。本県では文化財保護課や滋賀県立琵琶湖文化館などを中心に、これらの文化財を保護・活用するため、調査や保存修理、展示公開などについてさまざまな取組をまいりました。

そのような取組みをととして、文化財は広く県民の関心を集めています。調査や修理によって新しい知見が得られることも多く、修理事業などによって美しくよみがえった文化財については、観光資源としての期待感も、いっそう高まっているところです。

本講座は、そうした県民の関心に対し県と琵琶湖文化館が協働して、文化財所有者や観光関係機関の協力を得ながら、最新情報を県民に向けて積極的に発信していこうとする試みです。大津市打出浜のコラボしが21を会場に繰り出す「打出のコツ」の一振りが、無尽蔵というべき滋賀の宝を魅力的に紹介していきます。

令和2年度においては、引き続き全6回の講座を開催いたします。近江の文化財をめぐるホットな話題に触れ、文化財を守る仕事を身近に感じていただくとともに、滋賀の魅力を発信する資源としての活用についても、ヒントにいただければ幸いです。また、ご好評をいただいている現地探訪を今年度も実施いたしますので、是非ご参加ください。

第1回 これぞ逸品ですぞ!! 琵琶湖文化館蔵考古資料から

琵琶湖文化館には、絵画や金工品といった美術工芸品以外に寄贈された考古資料があるのをご存じですか。時々、安土城考古博物館や市町の博物館に貸し出すことがあります。お蔵入りになっているものもあります。今回は、あまり日の目を見ていない考古資料のうち石製品と瓦（すごく地味かつマニアックですが）その出土した遺跡について紹介したいと思います。

第2回 染織を消えて支える青花紙

青花紙は、アオバナを原料に製作される伝統材料で、友禅染や絞染などの下絵の染料として使用されています。近世より近江の特産物として地誌などにも登場し、現在でも草津市内において作り続けられています。青花紙の製作技術やその使用方法などについて、東京文化財研究所により調査研究が行われ、染織技術を支える青花紙の重要性が明らかとなりました。本講座では、その研究成果をご紹介します。

第3回 滋賀県の仏教工芸 舍利荘厳篇

舍利（しゃり）は一般には仏教の開祖である釈迦の荼毘に付された遺骨を指し、荘厳（しょうごん）は美しく飾ることをいいます。釈迦の入滅直後から始まっていた舍利への信仰は、仏教伝来とともに中国、朝鮮半島、そして日本へと広まり、各地・各時代に応じた様々な舎利の荘厳が生み出されました。この講座では、飛鳥時代後期（白鳳期）の崇福寺出土の舎利容器をはじめとする、滋賀県の多様な舎利荘厳具とその魅力をご紹介します。

第4回 成菩提院の「釈迦諸尊集会図」と中国・南宋時代の仏画 滋賀県新指定文化財の紹介

成菩提院に伝来した「釈迦諸尊集会図」は、釈迦如来が法華經の教えを説いた折に、法華經を守護する諸菩薩、諸天が参集する様子が描かれます。類例稀な仏画ですが、彩色・線描ともに洗練された秀作で、中国・南宋時代に当地を代表する港灣都市・寧波周辺で描かれたと考えられます。本講座では、「釈迦諸尊集会図」の図像と様式を解説し、本図が描かれた背景を探ります。さらに、滋賀県に伝来する中国・南宋仏画の名品もあわせて紹介します。

第5回 現地探訪 栗東歴史民俗博物館とその周辺

琵琶湖文化館地域連携企画展の関連事業として、栗東市内を歩きます。JR手原駅を起点に、旧東海道の史跡や寺院など、一般にはあまり知られていない文化財も含めて、現地に詳しい講師が楽しく案内します。ゴールは栗東歴史民俗博物館で、今年で30周年を迎える博物館の開館当初のエピソードなどに触れながら、展示の見どころを解説します。

第6回 神と仏の融合「本地垂迹」と仏像・神像

仏教伝来とともに出会った日本の神と大陸の仏。奈良時代から緩やかに結びつき始めた両者は平安時代に一気に距離を縮め、その境目がぼやけていきます。ホトケはカミであり、カミはホトケ…。神仏の融合・本地垂迹の不思議な世界を、滋賀県の参考事例も含めて追究します。

※日時・タイトル・講師および内容の一部について、都合により変更となる場合がございます。

最新の情報につきましては琵琶湖文化館ホームページ（<http://www.biwakobunkakan.jp>）をご確認いただくか、電話（077-522-8179）にて、お問合せください。





花湖さん
の

打出のコツチ

第5回「現地探訪 栗東歴史民俗博物館とその周辺」のご案内

琵琶湖文化館地域連携企画展「栗太郡の神・仏 祈りのかがやき」の関連事業として、栗東市内を歩きます。旧東海道の史跡や寺院など、一般にはあまり知られていない文化財も含めて、現地に詳しい講師が楽しく案内します。ゴールは栗東歴史民俗博物館で、今年で30周年を迎える博物館の開館当初のエピソードなどに触れながら、展示の見どころを解説します。

◆講師◆ 井上 優（県立文化財保護課・県立琵琶湖文化館）

◆開催日時◆ 令和2（2020）年11月5日（木）13：15～15：30

◆探訪場所◆ 栗東歴史民俗博物館周辺（栗東市葉山東学区）

◆集合場所◆ JR 草津線 **手原駅 南口**（13：00 受付開始）

貴生川・柘植方面 13：02 着（柘植行き）

草津 方面 12：42 着（草津行き）

◆行程◆ （出発）13：15 手原駅→（旧東海道）稻荷神社

→里内呉服店→肩替えの松→梅ノ木立場跡

→一里塚跡→13：45 旧和中散本舗大角家（見学）

→14：20 福正寺地蔵堂（法界寺・重文木造地蔵菩薩立像見学）

→万年寺門前（人宿り）→15：00 栗東歴史民俗博物館（解説・見学）

* 全行程約 4.5 km すべて徒歩です。

* 現地解散となります。

・手原駅まで徒歩約 25 分（約 2 km）

・帝産バス 草津駅行き（30 分に 1 本）

運賃 320 円 のご利用が便利です。

◆募集人数◆ 40 名（事前申込制、すでに満員）

◆参加料◆ 無料（**但し、旧和中散本舗入館料 500 円が別途必要**）

◆問い合わせ◆ 滋賀県立琵琶湖文化館 TEL 077-522-8179
（平日 8：30～17：15）



* 集合場所には駐車場はございませんので、公共交通機関でお越しください。

* 歩きやすい服装・靴でご参加ください。お飲み物等は各自でご用意ください。

* マスクの持参をお願いします。